



いいいば 廃棄化粉碎 NO.1

学生諸君！ ミリーズ“廃棄化粉碎”を始めるにあつて、今年春からの寮生のぐる動きを整理してみた。

負担又ヶ攻撃許すな！

2月吉田寮食堂ガス代強制、4月セミナー費プロ代値上げ、6月熊野寮ガス代強制… 今年に入り当局の負担区分強制攻撃は激しさを増した。

吉田寮の場合、(熊野寮もほぼ同じような事情) 今年3月限りで3人の炊飯さんうち1人が退職することになった。(81年に4人から3人に減っていた) よって残り2人の負担が増大するから、薪を使っていた副食用釜をガス化しよう。だから寮生はガス代を払えというのが当局の言い分である。「炊飯さんが労働過重になるのは寮生又ガス代を払わないからだ」というのである。見事な責任転嫁！ 炊飯さんの負担を重くしているのは、後任炊飯を補充しようとしている当局の方たちは明らかだ。80年1月、「炊飯は後任補充しない。臨職の退職金も補償しない」(学生部1・10文書)——こうして炊飯さんは、現在も労働過重と不安に苦しんでいる。

在寮者確認攻撃を許すな！

今年7月、学生部は在寮者氏名の「確認」のため、新入寮生に「在寮者確認」文書を送りつけた。寮生がこれを拒否すると、8月18日付で「あなたを正式寮生とは認めない」実際に住しているのに寮生ではないのだそうだ。

寮生がこれを拒否した理由は、①入退寮者氏名は京大新聞紙上に自治会で発表している。(これは過去の因交においてみちとった確約ひとつだ) ②個々人物に文書を送りつけてくるのは露骨な個人攻撃であること ③入退寮権への不当な干渉であり、その奪取を

目的としたものであること。

①これらのように、当局はどういう寮生かいるかをちゃんと知っているから一人一人に文書を送ることができる。彼らは、「住所がわからないので教えてください。」という手紙を出しているわけだ。つまり「確認」が目的なのではない。彼らが欲しいのは入寮一ヶ月と学生部長との契約というやつたち、すなわち、入退寮権の奪取を狙いなのである。(2)(3)

廃棄化攻撃を粉碎しよう！

10月12日、北川前学生部長名で『本学の寮寮問題について』なる文書が出された。その内容によると「寮生側が入退寮権なるものを主張しているため、寮は不正常な状態である。よって老朽寮(吉田寮)はつぶし、熊野寮も古くなりどうづいて、正常化する」という、廃棄宣言ともいはべきナンセンスなものであった。

北川は昨年来、「寮生と話し合う意図はある」という民主的なポーズを取っていましたが、「因縁は一方的に自己の主張を通そうとするもの」「ルールに応じた話し合いなら」として、寮生の話し合い要求をずっと無視してきた。彼らのいう「ルール」とは、「人数制限、密室」ということである。そのような「話し合い」に応じたら一体どうなるか。79年10月、寮自治会の「代表者」6名と学生部長との間の「話し合い」。学生部長は無責任な発言をくり返すのみで、実質的な話は全くなされなかつた。さらに許しがたいことに、この時、学内外に警察



権力を配備し、後に「暴力事件」をデマ口口す、「代表者」を逮捕させたのである。

このふうに彼らのいう「話し合い」とは、「實主の了解をとった」というアリバイ作り、そしてそれによつて彼らの主張を一矢的に押しつけるものでしかない。

よつて窓自治会は、誰もが参加できる、そしてどちらが悪いのかを白日の下に明らかにする、公開の場での話し合いを要求している。

10・18ヤグラ建立、10・27全學集会の成功、10・12文書撤回と田交を求める全學署名、窓は次々に反撃を組織しつつある。

学友諸君！ 今こそ、窓斗争に連帯していくうばねいがん

全てのクラスセミナーで活発

な討論を！

廃窓粉碎の大嵐を巻き起こせ！